

ウェリントン・トータル・リターン債券ファンド (年4回決算型) (為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、円建て外国投資信託への投資を通じて、主として米ドル建ての国債、社債、ハイイールド債、新興国債券などに実質的に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2025年11月15日～2026年5月14日

第5期	決算日：2026年2月16日	
第6期	決算日：2026年5月14日	
第6期末 (2026年5月14日)	基準価額	10,633円
	純資産総額	15,200百万円
第5期～ 第6期	騰落率	2.5%
	分配金合計	80円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

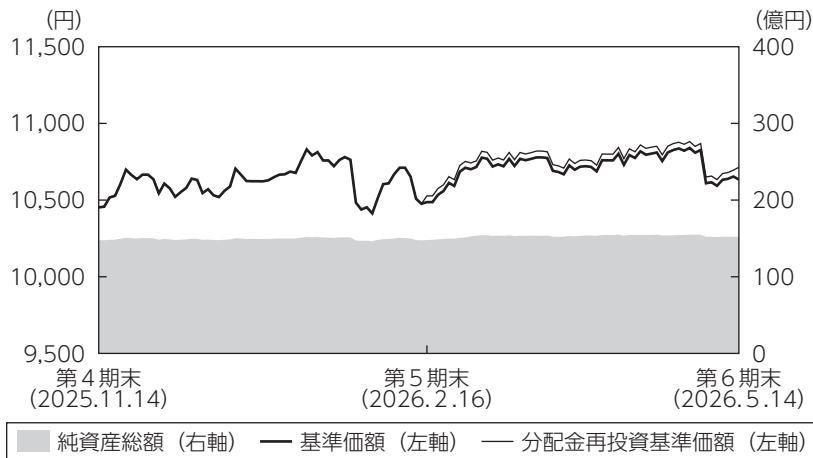
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

ケイマン籍外国投資信託 ウエリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン）ファンド クラスJPY S Q1 Distributing Unhedged 円建て受益証券（以下、「トータル・リターン・ファンド」ということがあります。）を通じて主として米ドル建ての債券に実質的に投資を行った結果、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。円安米ドル高が主な上昇要因となりました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
ウエリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン）ファンド クラスJPY S Q1 Distributing Unhedged	3.0%
D I AMマネーマザーファンド	0.3%

- (注) ウエリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン）ファンド クラスJPY S Q1 Distributing Unhedgedの騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

1 万口当たりの費用明細

項目	第5期～第6期		項目の概要
	(2025年11月15日 ～2026年5月14日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	51円	0.480%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,673円です。
(投信会社)	(19)	(0.174)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(31)	(0.289)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.002 (0.002)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	51	0.481	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

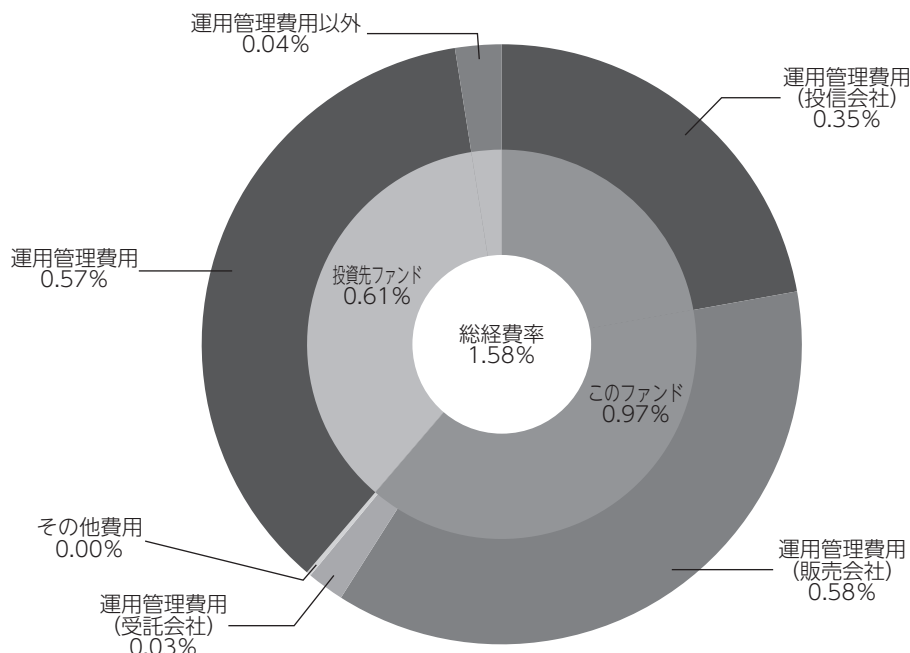
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.58%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.58%
①このファンドの費用の比率	0.97%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

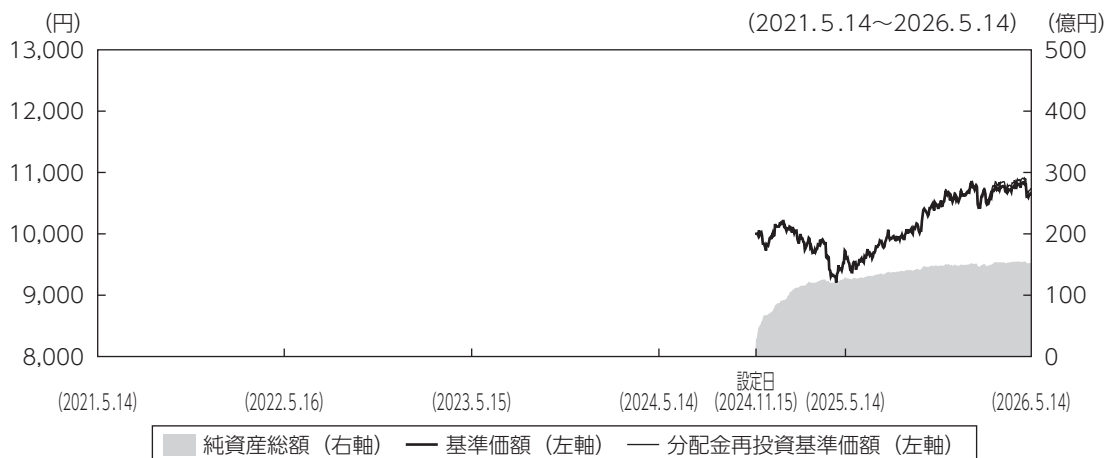
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。

	2024年11月15日 設定日	2025年5月14日 決算日	2026年5月14日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	10,000	9,712	10,633
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	110
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△2.9	10.6
純資産総額 (百万円)	2,934	12,895	15,200

- (注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。
- (注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

投資環境

米国国債利回りは上昇（価格は下落）しました。作成期初から2026年1月下旬にかけて利回りが上昇した後、2月は米求人件数の軟調な結果やプライベートクレジットの懸念を示すニュース等を受けて一時利回りが低下（価格は上昇）しました。ただ、その後は米国によるイラン攻撃が継続し、エネルギー価格が上昇することによるインフレ再燃への懸念を受けて、再び利回りは上昇し、最終的には期初よりも利回りが上昇しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは0.4%近辺の水準で始まりましたが、日銀が2025年12月に政策金利を引き上げたことから同利回りは上昇しました。

米ドルは対円で上昇しました。作成期初から2026年1月中旬にかけては日本での衆議院解散報道を受けた財政悪化懸念などから円が売られ、米ドルは相対的に上昇しました。その後、1月下旬には日米当局によるレートチェックとみられる動きにより米ドルは対円で大きく下落した局面もありましたが、中東における戦闘長期化への懸念から、リスク回避の動きとして米ドルが買われたことなどにより米ドルは対円で上昇しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

トータル・リターン・ファンドの組入比率は原則として高位に維持し、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行いました。

●ウエリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン）ファンド クラスJPY S Q1 Distributing Unhedged

当ファンドは米ドル建ての債券を主要投資対象とし、各種債券等を機動的に配分し投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。流動性を確保する目的で作成期中では国債やキャッシュを多く保有しており、2026年4月末時点では国債とキャッシュを合わせて5割程度保有しました。格付別構成比率ではA A格のほか、B B B格を中心としたポートフォリオとしました。

●D I A Mマネーマザーファンド

残存期間の短い国債などで運用を行いました。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第5期	第6期
	2025年11月15日 ～2026年2月16日	2026年2月17日 ～2026年5月14日
当期分配金（税引前）	40円	40円
対基準価額比率	0.38%	0.37%
当期の収益	40円	40円
当期の収益以外	－円	－円
翌期繰越分配対象額	555円	689円

- (注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
- (注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。
- (注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

債券市場および資金動向などを考慮しながら、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざし、トータル・リターン・ファンドを高位に組み入れる方針です。また、国内短期金融市場や資金動向に留意しつつ、D I AMマネーマザーファンドの組み入れを継続します。

●ウエリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン）ファンド クラスJPY S Q1 Distributing Unhedged

マクロ経済に関しては引き続き不透明であり、エネルギー価格の上昇は短期的なインフレ圧力となり、債券市場のボラティリティや不確実性の高まりにつながる一方で、労働市場の落ち着きや適度な財政政策等は、中期的には望ましい状況であると考えています。債券に関しては引き続き高クオリティの銘柄を嗜好するほか、社債のタイトなスプレッド水準、地政学的な不確実性等を考慮し、引き続き米国債と現金の比率を高めています。

●D I AMマネーマザーファンド

日銀は2026年4月の金融政策決定会合で、政策金利を0.75%とする金融政策を維持しました。日銀は今後も政策金利の引き上げを行うと見られますが、欧米で見られた形の急激な金利引き上げは回避すると想定されます。そのため、今後も公社債等への投資を通じ、安定的な運用を目指します。

お知らせ

約款変更のお知らせ

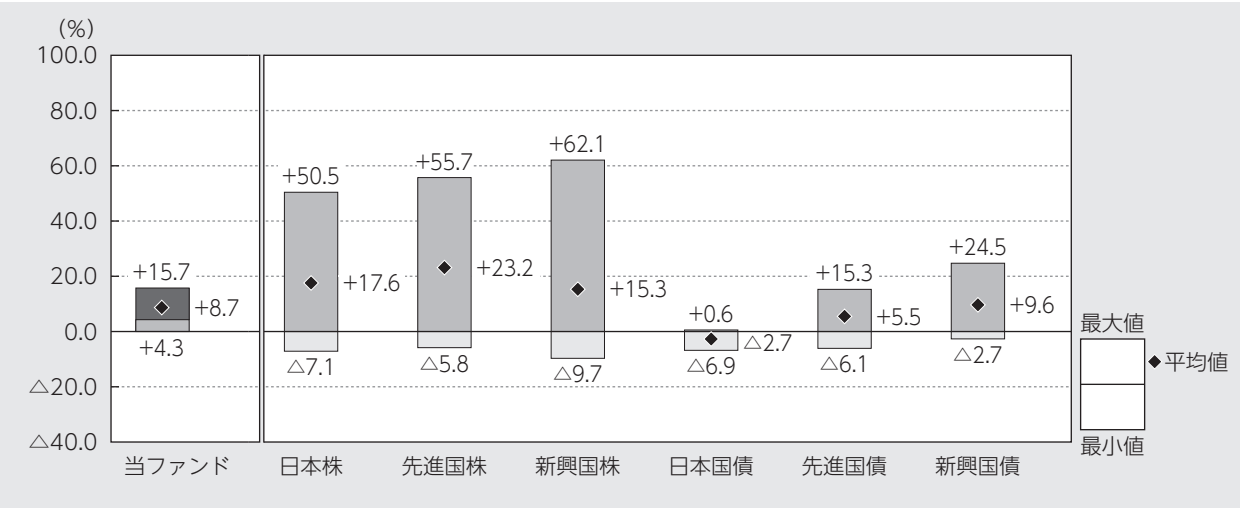
■当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「D I AMマネーマザーファンド」において、「一般社団法人投資信託協会」の名称変更に伴い、約款における記載を「一般社団法人資産運用業協会」に変更しました。

(2026年4月1日)

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／債券	
信 託 期 間	2024年11月15日から2045年11月14日までです。	
運 用 方 針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目的として、運用を行います。	
主要投資対象	ウエリントン・トータル・リターン債券ファンド (年4回決算型) (為替ヘッジなし)	主として、以下の投資信託証券に投資します。 ・ケイマン籍外国投資信託 ウエリントン・クレジット・トータル・リターン (ケイマン) ファンド クラスJPY S Q1 Distributing Unhedged 円建て受益証券 (以下「トータル・リターン・ファンド」といいます。) ・D I A Mマネーマザーファンド受益証券
	ウエリントン・クレジット・トータル・リターン (ケイマン) ファンド クラスJPY S Q1 Distributing Unhedged	米ドル建ての国債、社債、ハイイールド債、新興国債券など ^(*) を主要投資対象とします。 (*) ファンドが投資する債券種別等は、市況動向、投資機会等が変化することにより、大幅に変わる可能性があります。
	D I A M マネーマザーファンド	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
運 用 方 法	①米ドル建ての国債、社債、ハイイールド債、新興国債券など^(*)を実質的な主要投資対象とし、各種債券等を機動的に配分し投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。 (*) 実質的に投資する債券種別等は、市況動向、投資機会等が変化することにより、大幅に変わる可能性があります。 ・各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向等を勘案して決定するものとし、トータル・リターン・ファンドの組入比率は、原則として高位を維持します。 ②トータル・リターン・ファンドの運用は、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーが行います。	
分 配 方 針	毎決算時 (原則として毎年2月、5月、8月、11月の各14日 (休業日の場合は翌営業日)) に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益 (評価益を含みます。) 等の全額を分配対象額とし、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して、決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンド：2025年11月～2026年4月
代表的な資産クラス：2021年5月～2026年4月

- (注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数
日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株……MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株……MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債……NOMURA-BPI国債
先進国債……FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債……JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）
(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2026年5月14日現在）

◆組入ファンド等

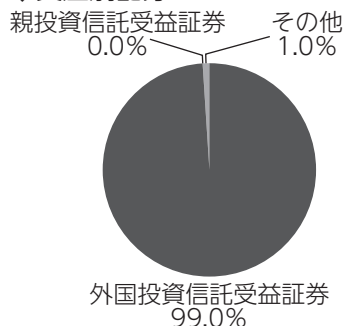
（組入ファンド数：2ファンド）

	第6期末
	2026年5月14日
ウェリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン）ファンド クラスJPY S Q1 Distributing Unhedged	99.0%
D I AMマネーマザーファンド	0.0
その他	1.0

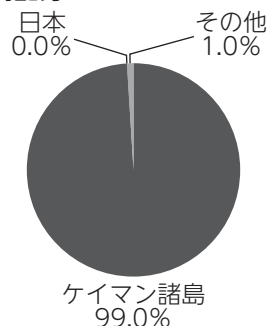
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

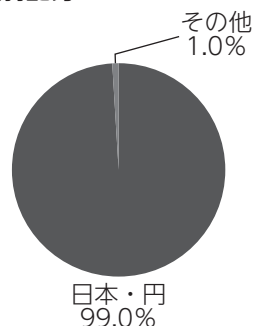
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。

（注3）国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

純資産等

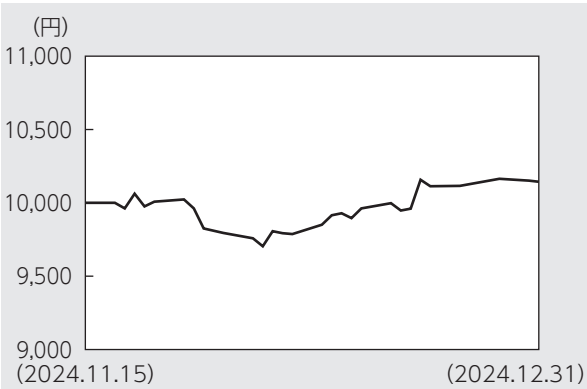
項目	第5期末	第6期末
	2026年2月16日	2026年5月14日
純資産総額	14,793,222,549円	15,200,349,432円
受益権総口数	14,105,860,851口	14,295,420,082口
1万口当たり基準価額	10,487円	10,633円

（注）当作成期間（第5期～第6期）中における追加設定元本額は917,493,867円、同解約元本額は751,143,765円です。

組入ファンドの概要

[ウエリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン） ファンド クラスJPY S Q1 Distributing Unhedged 円建て受益証券]（計算期間 2024年11月15日～2024年12月31日）

◆基準価額の推移



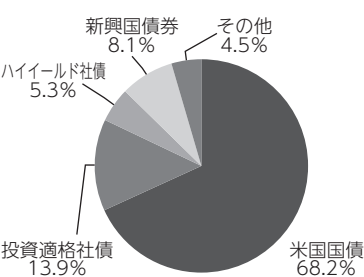
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
US Treasury NB 3.2500% 06-30-29	アメリカ・ドル	8.0%
US Treasury NB 3.7500% 12-31-30	アメリカ・ドル	7.9
US Treasury NB 5.2500% 02-15-29	アメリカ・ドル	7.9
US Treasury NB 4.1250% 08-31-30	アメリカ・ドル	5.4
US Treasury NB 4.1250% 10-31-29	アメリカ・ドル	5.2
US Treasury NB 3.7500% 08-15-27	アメリカ・ドル	4.9
US Treasury Bill Discount 01-30-25	アメリカ・ドル	4.9
US Treasury NB 4.3750% 08-31-28	アメリカ・ドル	4.6
US Treasury NB 4.1250% 11-30-29	アメリカ・ドル	4.2
US Treasury NB 3.3750% 09-15-27	アメリカ・ドル	2.8
組入銘柄数	102銘柄	

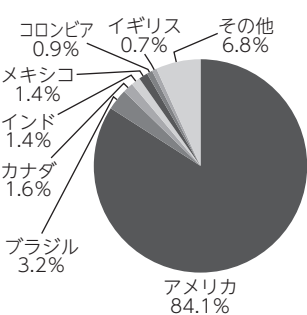
◆1口当たりの費用明細

費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

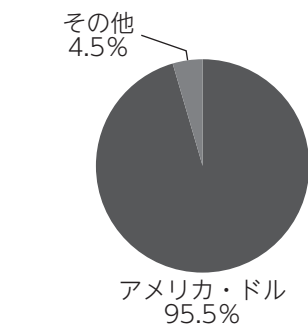
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移はウエリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン） ファンド クラスJPY S Q1 Distributing Unhedged 円建て受益証券の計算期間（決算日が休日の場合は前営業日まで）のもので、分配金を再投資したものととしてアセットマネジメントOneが作成したものです。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、ウエリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン） ファンドの決算日（決算日が休日の場合は前営業日）現在の状況を表示しております。

(注3) 比率はウエリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン） ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

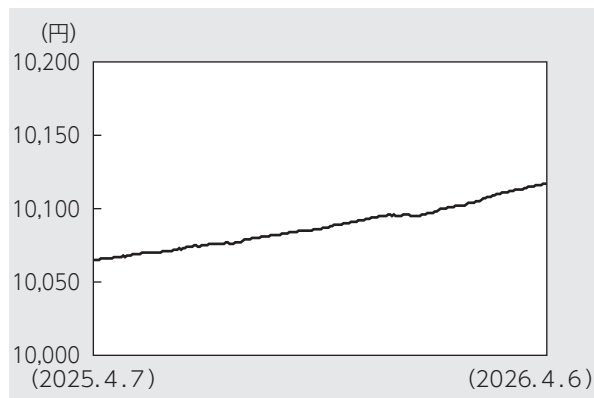
(注4) 現金等はその他として表示しています。

(注5) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注6) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーのデータを基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【D I AMマネーマザーファンド】（計算期間 2025年4月8日～2026年4月6日）

◆基準価額の推移



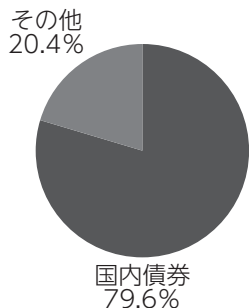
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
1371回 国庫短期証券	日本・円	13.7%
1365回 国庫短期証券	日本・円	9.1
1368回 国庫短期証券	日本・円	9.1
1345回 国庫短期証券	日本・円	9.1
1300回 国庫短期証券	日本・円	4.6
460回 利付国庫債券（2年）	日本・円	4.6
1358回 国庫短期証券	日本・円	4.6
1362回 国庫短期証券	日本・円	4.6
1366回 国庫短期証券	日本・円	4.6
1313回 国庫短期証券	日本・円	4.6
組入銘柄数	13銘柄	

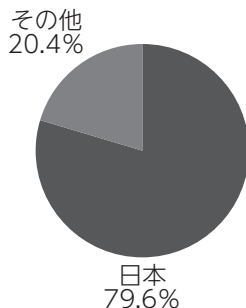
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

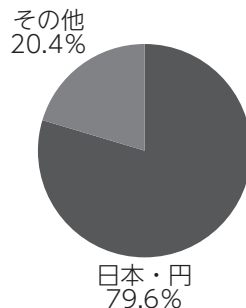
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

